

評価者	都市景観部長	吉田 浩
評価者	都市整備部長	樋田 浩一

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針	緑の保全等
目標とすべきまちの姿	国・県との適正な役割分担による広域的な緑地保全・管理施策が進められています。また、より充実した施策により、緑地の質が高まっています。 土地所有者・市民をはじめ、関係機関等の協力により、地域制緑地の指定が充実し、国・県・市の間での役割分担が適正に行われることで、着実に施策が進捗しています。 市民の自発的な緑に関する活動が活発に行われています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	19.5%	平成30年度(2018年度)	18.0%	平成29年度(2017年度)	18.1%
	平成28年度(2016年度)	15.6%	平成27年度(2015年度)	17.7%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	1.8%	0.3%
ちょうどよい	3.7%	45.0%	2.1%
効果不十分	4.2%	3.7%	12.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.3%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	4.6%	43.6%	1.3%
効果不十分	5.3%	3.3%	14.7%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	1.6%	0.5%
ちょうどよい	3.5%	40.9%	2.1%
効果不十分	4.4%	5.3%	15.6%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.8%	1.6%	0.2%
ちょうどよい	3.4%	41.7%	2.5%
効果不十分	3.0%	6.4%	18.8%

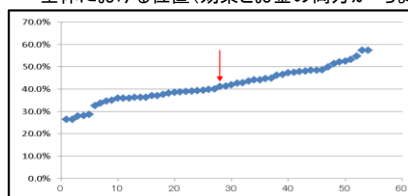
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

## 平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.1%	1.1%	0.4%
	ちょうどよい	3.9%	41.1%	1.1%
	効果不十分	5.4%	3.6%	17.3%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	23.2%	47.2%	3.7%	25.9%
平成30年度(2018年度)	25.6%	46.8%	4.3%	23.3%
平成29年度(2017年度)	28.5%	43.1%	4.4%	24.1%
平成28年度(2016年度)	30.7%	43.9%	3.6%	21.8%
平成27年度(2015年度)	28.0%	44.3%	4.1%	23.5%

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

#### ◎都市景観部

- ①緑政審議会の意見も聴きながら、緑の基本計画の進行管理書である「鎌倉市のみどり(令和元年度版)」をまとめ、広く公表する。また、緑の基本計画に基づき、緑地保全施策を推進する。(都景-09)
- ②鎌倉近郊緑地特別保全地区内で、都市緑地法に基づく買入れ申出を受けている土地の一部を買入れる。(都景-10)
- ③緑の学校等講習会では、講座内容や広報の充実等により、多くの市民に緑の知識の普及等ができるように努める。(都景-11)
- ④保存樹木等奨励金の交付など、民有緑地所有者への支援を継続する。また、緑地保全基金は、ふるさと寄附金制度とも連携しながら、従前から実施してきた広報を継続し、寄附金の増加に努める。(都景-12)
- ⑤引き続き、(公財)鎌倉風致保存会の運営を補助し、同会の活動の充実を図ることで、トラスト団体との連携による緑地保全を進める。(都景-13)

#### ◎都市整備部

- ①住民からの樹林管理事業申請のうち、有効申請件数に対する達成率の維持に努める。(都整-36)

### (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

#### ◎都市景観部

- ①緑の基本計画の適切な進行管理を行い、計画に基づいた地域制緑地の指定により、着実に緑地保全を進めることができる。(都景-09)
- ②首都圏近郊緑地保全区域内で県により指定されている近郊緑地特別保全地区内での土地の買入れは、国・県との適正な役割分担により進めるものであり、予算の一部には国庫補助を充てている。(都景-10)
- ③多くの市民に緑の知識を普及することにより、市民の自発的な緑に関する活動を促すことにつながる。(都景-11)
- ④民有緑地所有者への支援を継続することにより、民有緑地の保全及び適切な管理が行われ、緑地の質が高まる。また、緑地保全基金が充実することで、緑地保全施策の財源の一部に充てることができ、広域的な緑地保全を進めることができる。(都景-12)
- ⑤(公財)鎌倉風致保存会の活動の充実を図ることで、市民の自発的な緑に関する活動が活発に行われ、緑地の質が高まる。(都景-13)

#### ◎都市整備部

- ①1地区の巡回サイクルを6年から3年に1回とすることで、住民からの要望にこたえることにより、樹林管理の支援の充実につなげる。(都整-36)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
都景-09	緑政運営事業	959	1,496	2.3	1.8	無	a	A
都景-10	緑地取得事業	141,555	160,633	1.0	1.0	無	b	B
都景-11	緑化啓発事業	4,906	4,970	1.4	1.0	無	b	B
都景-12	緑地保全事業	35,872	30,088	2.1	2.0	無	b	B
都景-13	風致保存会助成事業	22,131	14,484	0.2	0.2	無	b	B
都整-36	樹林維持管理事業	22,097	13,681	1.2	1.2	無	a	B

(4) 主な実施内容

<p><b>【主な実施内容】</b></p> <p><b>◎都市景観部</b></p> <p>①緑政審議会を開催し、審議会の意見も聴きながら緑の基本計画の進行管理を担う「鎌倉市のみどり(令和元年度版)をまとめた。また、緑地保全基金の枯渇を踏まえた課題や事業の方向性を取りまとめ、令和2年度に行う「緑の基本計画」見直しに向け、基本方針などの討議を行った。(都景-09)</p> <p>②都市緑地法に基づき、買入れ申出を受けている土地の一部(約2.9ヘクタール)を買入れた。(都景-10)</p> <p>③緑の学校、緑のレンジャー等の講座の開催を通じて、多くの市民への緑化啓発、緑地の維持管理を担う市民ボランティアの育成に努めた。(都景-11)</p> <p>④保存樹木等奨励金を交付し、民有緑地所有者の支援に努めた。また、ふるさと寄附金制度とも連携しながら緑地保全基金への寄附金の増加に努めた。(都景-12)</p> <p>⑤(公財)鎌倉風致保存会運営補助費を交付し、同会の活動を支援した。(都景-13)</p> <p><b>◎都市整備部</b></p> <p>①樹林管理事業では、八幡宮地区及び山ノ内・今泉地区で、対象地の所有者からの申請に基づき、樹林地の枝払いや枯損木の処理、徐間伐などの管理を行った。(都整-36)</p> <p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p>
--

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

<p><b>◎都市景観部</b></p> <p>効率性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>妥当性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>有効性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>公平性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b></p> <p>①緑の基本計画を適切に進行管理しながら、令和2年度に行う予定の「鎌倉市緑の基本計画」の見直しに向けた検討を進めた。(都景-09)</p> <p>②鎌倉近郊緑地特別保全地区内の土地の買入れについては、所有者からの申出により、関係法令に基づいて、財政負担の平準化も踏まえて対応した。(都景-10)</p> <p>③緑化啓発業務では、多くの市民の受講により、緑の知識の普及やボランティアの育成を図ることができた。(都景-11)</p> <p>④保存樹木指定等による民有緑地の所有者への支援や確保緑地の適正整備事業により、市内の豊かな緑地の保全を図るとともに、その質の充実に向けた継続的な取組を進めることができた。また、緑地保全基金は、様々な媒体で周知を図り、支所等や催事における募金活動などの他、ふるさと寄附金制度の活用により、寄附金増加の取組みを進め目標値の1.5倍の寄附を得た。(都景-12)</p> <p>⑤本市における緑地保全の取組に大きな役割を果たしている(公財)鎌倉風致保存会の運営を支援し、同会の活動の充実を図ることができた。(都景-13)</p> <p>以上のことから、緑の保全等の取組について、効率性・妥当性・有効性・公平性について適切と評価した。</p>	
<p><b>◎都市整備部</b></p> <p>効率性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善</p> <p>妥当性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>有効性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p>公平性 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善</p> <p><b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b></p> <p>・樹林管理事業の有効申請件数 88件全てに対応した。(都整-36)</p> <p>・平成29年度から毎年度2地区に対応しているが、単年度に処理する事務量が増加しているため、事務効率の向上や適切な人員の確保も含めて事務の改善に努めたい。(都整-36)</p>	

### 3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	都景-09	事業名	緑政運営事業								
指標の内容	特別緑地保全地区の指定面積					単位	ha	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
緑の基本計画に示す指定目標	目標値	94.3	94.3	94.3	94.3	94.3	94.3				
	実績値	48.8	48.8	48.8	48.8	49.4	49.4				
	達成率	51.7%	51.7%	51.7%	51.7%	52.4%	52.4%				
整理番号	都景-10	事業名	緑地取得事業								
指標の内容	近郊緑地特別保全地区の買入れ面積					単位	ha	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
緑地取得のため	目標値	約23.1	約24.8	約24.8	約24.8	約25.29	約25.29				
	実績値	約7.0	約10.3	約14.2	約17.15	約20.48	約23.40				
	達成率	30.3%	41.5%	57.3%	69.2%	80.9%	92.5%				
整理番号	都景-11	事業名	緑化啓発事業								
指標の内容	緑のレンジャー(シニア)の受講者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
	目標値	30	30	30	30	30	30				
	実績値	21	22	20	17	19	17				
	達成率	70.0%	73.3%	66.7%	56.7%	63.3%	56.7%				
整理番号	都景-12	事業名	緑地保全事業								
指標の内容	緑地保全基金への寄附金					単位	千円	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
緑地保全基金の充実	目標値	1,500.0	1,500.0	3,851.0	3,851.0	5,500.0	6,700.0				
	実績値	5,570.0	2,684.0	3,769.0	3,374.0	5,967.0	10,315.0				
	達成率	371.3%	178.9%	97.9%	87.6%	108.5%	154.0%				
整理番号	都整-36	事業名	樹林維持管理事業								
指標の内容	各年度の有効申請件数に対する達成率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	※H26～H28までは、1地区、H29から2地区を対象に実施。			
家屋等に影響を及ぼすおそれのある危険な樹木は市民の日常生活に支障となるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値	82.7	87.9	100.0	100.0	100.0	100.0				
	達成率	82.7%	87.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				